

未来と令和・昭和をつなぐ！！ 多世代共創ワークショップを 同志社女子大学の学生が大阪・関西万博で開催！

同志社女子大学（所在地：京都府京田辺市・京都市 学長：川崎清史）現代社会学部社会システム学科の日下菜穂子ゼミでは、この度、大阪・関西万博「いのちの遊び場 クラゲ館」にて、多世代による共創ワークショップを開催します。

このワークショップでは、大学生・地域の高齢者（最高齢85歳）・小学生が一つのチームとなり、古布を再生した創作活動や、モーターを活用した“動くアートマシン”づくりに取り組みます。人生で2度目の万博を迎える高齢者、未来を生きる子どもたち、そして現代を担う若者たちが、ともに手を動かし、語らいながら、「世代を越えた共創」の力を形にしていきます。

本企画は、世代を超えた交流や、地域資源の再発見、創造性を育む学びの場として注目されており、「つくること」が生み出す新しいつながりや、未来志向のコミュニティづくりを体感いただける機会です。

当日は、来場者も予約なしで作品制作に参加できます。ぜひ、「いのちの遊び場 クラゲ館」にお越しいただき、驚きと温もりに満ちた多世代共創の現場をご体感ください。

【開催概要】

- イベント名：Tinkerables 多世代でつくり出す驚きに満ちたアート
- 日時：2025年5月24日（土） 13:30～16:00
- 場所：大阪・関西万博「いのちの遊び場 クラゲ館」
- 主催：同志社女子大学 現代社会学部社会システム学科 日下菜穂子ゼミ
- 参加メンバー：大学生、地域高齢者、小学生
- 体験内容：古布の再生アート、モーターを使った動くマシン制作 ほか
- 問い合わせ先：社会システム学科事務室

TEL：0774-65-8543 E-mail：gensha-t@dw.doshisha.ac.jp

日下菜穂子（くさか なほこ）プロフィール
同志社女子大学教授。

兵庫県出身。同志社大学卒業、関西学院大学大学院修了。博士（教育心理学）。臨床心理士・公認心理師。専門は、老年学・生涯発達心理学。ポジティブ心理学の立場から、人生後半の生きがい創造の実践研究に従事。多世代の学修コミュニティの形成などを通じて、産官学の連携で高齢期の孤立防止に取り組む。主著に『ワンダフル・エイジング』、『人生の意匠』（ナカニシヤ出版）など。

日下菜穂子教授による「生きがい創造プロジェクト『ワンダフル・エイジング』」について紹介したページはこちら。

生きがい創造プロジェクト

Wonderful Aging

日下菜穂子教授の活動は、
こちらのQRコードより
ご覧いただけます



過去の多世代共創プロジェクトの取り組みの様子



■ メディア関連の方へ

取材をご希望の方は、お手数ですが下記問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

■ 本件に関するお問い合わせ先
同志社女子大学広報課長 前野健

【電話】 0774-65-8631

【携帯】 080-1466-8605

【FAX】 0774-65-8632

【e-mail】 koho-t*dwc.doshisha.ac.jp（＊を@に変えてご利用ください）